

研修部・研究部、支部発表一覧

I. 研修部・研究部

期 間	研 修 部	研 究 部
平成 14年度 ～ 15年度	「私たちにとって必要な研修とは」 ～学校事務職員の専門性を 高めるための研修体系～ 「職務内容の4本柱」（県費経理、公 会計、人事管理、文書管理）から「学 校事務職員の標準的職務内容（案）」 （県費経理、学校財務、人事管理、文 書管理、学務事務）が出されるなか、 学校事務職員としての職務内容の専門 的な知識や技能を高めることは学校事 務職員が学校現場にいる意味を立証す ることにつながる。知識・技能の向上 をめざすために必要とされる研修を、 体系づけて提案した。	「学校事務職員の専門性とは…？」 ～もう一歩前への事務実践、 学校財務を担当して～ 研修部が作成した研修計画表の充実のため 会員の資質向上につながるような「もう一 歩前へ」の事務実践の研究をするという役 割の中で、学校財務を「学校にいるからこ そできる仕事」として位置づけた。決算書 作成や各々の学校の実情に即した実践を積 み重ねることは今後の重要な課題であり、 学校財務に携わって事務職員が積極的に予 算立案・執行に関する取組をすすめること は、専門性を探ることにつながると提案し た。
平成 16年度 ～ 17年度	「私たちにとって必要な研修とは」 ～学校事務職員の専門性を 高めるための研修体系Ⅱ～ H14.15年度からの継続事案として、学 務事務も含めた標準的職務内容（案） に沿った研修体系の検討及び研修計画 表の改訂に取り組んだ。また、研修の 対象者をどのように想定していくのか についても再度検討し、より実効性の ある研修体系として提案した。	「学校予算と徴収金」 ～保護者負担軽減を目指して～ 学校財務の担当者として県事務研の「学 校や地域にねざした事務実践をめざして」 というテーマに沿って「学校にいるからこ そできる仕事」という観点を更に進めて学 校徴収金について研究した。地方財政の悪 化や大規模な市町村合併による予算編成の 激変により、学校予算が大幅に削減され、 保護者負担にも影響が出ているのではとい う問題意識を持ち、更に一歩前へ進んだ取 組を進め、報告した。
平成 18年度	「改訂版 事務の手引き作成」 県事務研が作成した「事務の手引き」内容について、発行後の制度変更に対応する ために改訂作業が必要となった。研修部・研究部合同で変更箇所を調査し、改訂版 の作成作業をおこなった。	
平成 19年度	「共同実施について」 平成19年4月にほぼ県下全域で導入さ れた「学校事務の共同実施」について の現状把握をするため、アンケート調 査と集計及び分析をおこなった。	「改訂版 事務の手引きCD作成」 前年度、合同で進めた「改訂版事務の手引 き」をデータ化し、CDに編集する作業及 び会員への配布をおこなった。
平成 20年度 ～ 21年度	「共同実施について考える」（合同研究） 前年度、研修部がおこなった「共同実施」についてのアンケート調査報告をもと に、「共同実施について県事務研究会として一定の見解を示す」ことを目的に取り 組む。更に詳しい実態調査・意識調査や意見集約を行い、共同実施について一定の 見解を示した。この見解については県事務研全体のものであり、その後の共同実施 のあり方に反映されている。	

期 間	研 修 部	研 究 部
平成 22年度 ～ 23年度	<p>「事務職員力を高めよう」 ～実践のススメ～</p> <p>事務職員の専門性を探るため、県下の実践を集積し、4つの分野に基づいて分布を調べた。専門性は実践の中にあると結論づけ、集積した実践例をまとめた「実践のススメCD」を会員に配布した。</p>	<p>「就学援助制度を学ぼう」 ～子どもたちの笑顔を守るために～</p> <p>自治体によって異なる就学援助制度を保護者に広く周知することは、子どもの学習権保障につながる。制度の周知方法から申請手続き・支給方法等について具体例を挙げながら、保護者にも担当者にもわかりやすく情報発信するための提案をした。また、実践を広げるためにハンドブックを作成し、会員に配布した。</p>
平成 24年度 ～ 25年度	<p>「事務職員力を高めよう」 ～実践のススメ part2～</p> <p>H22.23年度からの継続事案として、実践分布の補強を行うため就学援助事務実践をまとめた。並行して実践案を取り入れた年間計画を作成し、ハンドブックにして会員に配布した。また目指すべき学校事務職員像を探り、その専門性は「現場力・協働力」に集約されると提案した。</p>	<p>「災害に備えて事務職員ができることは」</p> <p>平成23年の東日本大震災や紀伊半島豪雨などの自然災害の経験を踏まえ、学校事務職員だからこそできる防災・減災の取組を研究した。アンケート調査・集約を踏まえ、「日常の備え」「災害発生時」「災害後の復旧」の各場面で事務職員が力量を発揮するために必要なことを示した。実際の取組を示すため災害対策フローチャート付のハンドブックを作成し、会員に配布した。</p>
平成 26年度 ～ 29年度	<p>「きのくに和歌山プラン ～子どものすこやかな成長を保障する学校事務～」</p> <p>研修部・研究部活動を休止して、全事研京都大会分科会実行委員会が発足。めざす学校事務職員像として「実務のスペシャリストである学校事務職員」「子どもの願いがわかる学校事務職員」「学び合う力を持っている学校事務職員」の3つを示した。またそれを含んだ和歌山県事務研の研究方針「きのくに和歌山プラン」を作成し、全事研京都大会分科会で発表した。</p>	

Ⅱ．研究大会支部発表一覧

平成19年度

担当支部	分科会名	内 容
那賀支部	学校事務職員が主体となる予算要求づくり～学校事務職員ならだれでもできる・学校事務職員だからできる予算要求のシステムづくり～	市町村合併に伴い事務処理や予算要求の方法や補助金内容などが大きく変わり、予算削減が続く中、教育環境・教育条件整備に取り組むために必要なこととは？施設設備要求一覧・誰でもできる備品台帳づくり・子どもアンケートなどを通して「やりがい」を感じられるような取組を提案する。
那賀支部	学校の安全は大丈夫？ ～学校事務職員ができる 安全への工夫の交流～ 危機管理部会	従来の避難訓練・安全点検では対応できない危機として不審者対策が挙げられる。これら3つの観点から改めて各校の危機管理について現状調査を実施し、改善に向けて事務職員ができることを探り、提案する。
那賀支部	リニューアル！ 「職員向けパンフレット」 パンフレット部会	実例に則した事務処理パンフレットを継続して作成している部会が、様々な変更点に対応するためリニューアルに取り組む。新たなパンフレットも追加しつつ、会員にデータで配布し、利用の幅を広げると共に内容に関する意見集約を行い、更なる使いやすさをめざす取組を報告する。
日高支部	”文書”を感じていますか？ 諸規程集に親しもう!! 文書・学務部会 公簿の確認、どんなにしてる？ 人事管理部会	文書・学務部会は、「教育関係諸規程集」に触れ、慣れ親しむことを課題とした活動を基に、具体的な事例がどの条例に該当するのかを意識した演習問題を通してスキルアップを図る。人事管理部会は、教育事務所廃止に伴い公簿の確認が必須になるという認識から、給与や旅費、服務に関する公簿確認のポイントをわかりやすくまとめ、提案する。
日高支部	”お金”を感じていますか？ 学校予算について 財務・環境部会 あったらいいな、 こんなプリント！ 給与部会	財務・環境部会は、予算削減の中でも職員・子どもからの要求を実現するために予算要求のポイントから意見集約・執行・決算までの流れを提案する。保護者負担軽減の取組も報告する。給与部会は、手当や税金に関する通知文書は他の職員には理解しにくいことから、学校独自でわかりやすく説明したプリントを持ち寄り交流した実践を報告。間違い探し問題にも挑戦する
日高支部	”時”を感じていますか？ 認定の達人 認定部会 ここがポイント！ 旅費部会	認定部会は、手当認定業務が学校長へ委譲されたことに伴い、事例が少ない学校の事務職員も共に力量をつけられるような資料作成に取り組み、その提案を通してスキルアップを図る。旅費部会は、旅費計算端末で処理できない特殊な事例に対しても制度を理解して正確な事務処理ができることを目的に、ポイントを絞り込んだ資料を作成し、報告する。
日高支部	”日高は今” 共同実施について考える!! 共同実施部会	支部では平成17年から一部地域で試行が始まった「共同実施モデル事業」について、現状把握や他府県の実例調査を行う。来たるべき本格実施に向け、アンケート調査を実施。共同実施をどう感じ、捉え、行政に要望するのか？今後のビジョン、方向性は？今後の職務内容に大きく影響する問題について意見を出し合い、共に探っていく。

平成20年度

担当支部	分科会名	内 容
海草支部	200X年からのメッセージ Part2 ～学校事務職員は生き残った～	平成12年に同じテーマで未来の学校の姿を描いた支部が、その後の情勢変化を踏まえ、更なる未来を描き、学校事務職員として生き残るためのあり方を探る。過去は変わらないが未来は変えられる。
西牟婁支部	校内美化（ピカ） ～ひと工夫 ひとアイデア ひとひねり～ 環境整備部会	箒や雑巾、学校の片付かない実態を解決するアイデア満載の実践講座。子どもにも職員にも使いやすい学校づくりをめざし、校内の美化を通して教育環境の整備を楽しく進めるための提案。
西牟婁支部	学校事務におけるパソコン活用 のための研修 コンピュータ班	今や事務処理に不可欠となったパソコンを活用するための実務研修。複雑化する事務を効率的に進めるため、便利なソフトや機能を使いこなすスキルアップを図る。お役立ちサイト情報付き。
西牟婁支部	実務研修 ～みんなで実務に強くなろう～ 実務・税金班	実務に強くなるための研修を重ねた中から、給与・旅費・サービスなどの演習問題を通して実務研修を行う。また、クロスロード問題として災害対策における「正解のなさ」を考える提案。
西牟婁支部	共に学び合おう ～班別研修についての報告～ 文書管理班	文書ファイリング方法の交流を通して、より効果的な方法を探る。市町村ごとに異なる文書管理方法についても調べ、文書分類について提案する。また、条例・法規について研修し、文書全般に関する幅広い提案を行う。

平成21年度

担当支部	分科会名	内 容
伊都支部	共同実施について ～みんなで交流しませんか～	平成19年から導入された事務共同実施について、グループ同士の現状を報告し合う。自治体・地域によっては事務職員未配置があったり大規模校で事務量が膨大になったりする現状や、利点と難点、また事務研活動との兼ね合いなどについても幅広く実態交流を行う。
伊都支部	給与事務の変遷 ～手計算から電算化へ～ 給与グループ	給与制度に対する正確な知識と処理能力は事務職員にとって必須事項だが、給与事務の電算化以降、少しずつその意識が薄れている。電算化以降に採用された人も、自分で給与や期末勤勉手当支給明細が作れるようになる実務研修を行う。
有田支部	続いています 1枚レポート ～大事にしようよ みんなの事務研～	「学校現場での日々の仕事にこそ大切なものがある」支部の事務研活動では受け身でなく積極的に関わりを持てるよう、1枚レポートの取組を続けている。日々の仕事について幅広くテーマを設定し、出されたレポートを通して意見交流する。

平成22年度

担当支部	分科会名	内 容
和歌山市支部	有効なお金の活かし方 ～修理・修繕予算を 有効に活かそう～ 学校財務部会	限られた予算で効果的な修繕をするには、事務職員にも知識や技術が必要。頼りになる業者一覧、いざとなれば自分で直せる豆知識、市から提供してもらえる資材一覧表、そして何より学校のことは子どもに聞いてみよう！という取組を報告する。
和歌山市支部	私たちの仕事を考えよう ～和歌山市は今…～	支部では平成14年を最後に市費事務職員が引き上げられ、県費事務職員の職務の在り方が大きく変わった。更に共同実施も導入された現在の様子を寸劇で報告し、多忙を極める日々の中、学校にいる意味を参加者と共に探る。
和歌山市支部	事務改善と工夫 ～使う・使わないは アナタしだい～ 事務改善と工夫部会	「制度が変わった！職員にどう説明する？」「きれいに整頓してもらうには？」そんな日常の悩みを改善するため、部員の工夫を集めた取組を報告。グループ別に日常の不便とその改善策を交流する。
東牟婁支部	実務研修 ～みんなでおさらいしましょう 実務研修ブロック	支部では平成18年に教育事務所が廃止され、書類の確認に対応する必要性から事例集作成に取り組む。それをもとに手当・休暇・人事管理などの実務研修を行い、スキルアップを図る。
東牟婁支部	職務内容 私たちのしごとって なあに？パート3 ～学校事務職員の仕事を 振り返ってみよう～ 職務内容研究ブロック	県事務研の「標準的職務内容」を踏まえ「学務事務」をどう捉えるのかという観点から始まり、学校事務職員として子どもに関わる事務をすることの意義を考え、固定観念に捕らわれず「誰がどんな意義でその仕事をしているのか」という問いを通して職務内容を再考する提案。

平成23年度

担当支部	分科会名	内 容
那賀支部	金を出さずに知恵を出そう！ ～つぶやきから生まれる 未来予想図～ 財務研究部会	減り続ける学校予算には知恵で対処。「モノの整理術」では効果的な収納だけでなく捨てることも整理につながることを提案。「備品活用術」では職員会議で KJ 法による意見交換で課題が発見でき改善に繋がった実践などを報告。未来予想図は続く…
那賀支部	もしもの時あなたの学校は？ ～学校事務職員としての避難所 経営と学校の早期再開に向けて～ 学校安全部会	公会計の担当者として、安全・安心な学校のために予算面での効果的な執行は欠かせない。加えて防災耐震・安全点検・不審者防止の観点から子どもを守るため調査・分析に取り組む。もしも学校が避難所になったら？震災体験者を含むパネラーの談話も交え、事務職員ができることを探る。
那賀支部	さあどっち？ 楽しく身につく実務研修 パンフレット部会	事務担当者用パンフレットの作成を通して集まった様々な事例をもとに作成された演習問題に挑戦。グループに分かれて○×問題を出し合うなどの実務研修により、スキルアップを図る。
日高支部	日高の事務研を体験しよう ～会員52名の実践ネットワーク～	「来てよかった」と思える事務研活動を続けるための支部活動報告。実務だけでなくメンタル研修や退職者からの講話も実施。情報ネットワークを通して会員全体で実践を共有する、一体感のある取組を報告。高い出席率を維持する秘訣に迫る。

平成24年度

担当支部	分科会名	内 容
海草支部	楽しもう 学校事務 ～みんなの力をあわせて～	支部の3つの研究部会活動について各々報告する。A部会は現在の職務内容に沿った事務年間計画表等を作成し、年間の流れの中を見通した事務処理について提案。B部会は日々の事務処理に便利な備品台帳補助簿と事務引継書を通してその学校の動きがひと目でわかる取組を報告。C部会は学校徴収金の現状調査から保護者負担軽減にむけ事務職員ができることを探る。
西牟婁支部	我がらの腕の見せどころ！ ～予算管理と環境整備～ 予算管理班/環境整備班	予算管理班は「予算はよーさんないんやから」を合言葉に、節約方法や「価格.jim」という底値データ、学校運営方針提案などの取組を報告。環境整備班は学校の環境改善のために校舎営繕や便利な小物を作成するなど、現場ならではのニーズに応える技術を伝授。参加者も小物作りに挑戦する。
西牟婁支部	スキルアップへ ホップ、ステップ、ジャンプ ～実務研修交流～ 校務効率化班/実務研修班	校務効率化班は、教材備品管理と文書管理を効率的に行うための流れと使用したシートなどを提案。わかりやすく効率的な管理をめざす。実務研修班は「未知なる事務との遭遇」に対応できる実技研修を通してスキルアップを図る。実際に参加者も演習問題に挑戦。

平成25年度

担当支部	分科会名	内 容
有田支部	集まろう、交流しよう。 キラリ 輝く学校事務職員を めざして！ ～有田の名物、1枚レポートで～	「集まること、発信すること」を目的に支部全体で長年取り組んでいる「1枚レポート」について報告。テーマは事務処理から日常の悩みなど幅広く、グループに分かれてテーマごとに交流する。
伊都支部	学校集金のスムーズな会計処理 をめざして ～事務職員から 会計処理方法を提案しよう～ 財務グループ	学校徴収金の内容や会計処理方法が確立されていないため管理・統一が困難な現状から、校内の意識を変えていくための提案を通して保護者にわかりやすい会計報告や負担軽減について探る。
伊都支部	学校を閉じる時 ～静まる前のドタバタ騒動～ 実務グループ	相次ぐ学校統廃合により発生する事務処理とは。マニュアル化されにくい但实际上に起こる事例に対して、経験者が体験をもとに報告し、県内の実態についても意見交流する。

平成26年度

担当支部	分科会名	内 容
和歌山市支部	公費私費負担の明確化や 保護者負担の軽減をめざそう ～和歌山市の実態より～ 学校財務部会	「会計事務の共通化」をテーマに学校徴収金と公費の区分・徴収方法などについて研究してきた部会が、「学校徴収金すべての公費化は不可能か」という視点で保護者負担の実態と改善策を探る。
和歌山市支部	楽しく事務実践 事務研究部会	比較的経験の浅い部員構成のため、基本的な事例交流をもとに資料を作成。各支部事務研で研究部会がどのように行われているか実態を交流する。
和歌山市支部	Let's 情報発信 ～こちら事務だよりになります～ 事務改善と工夫部会	情報発信をテーマに、事務連絡が事務だよりになるコツを提案。またグループに分かれて模造紙版の事務だより作成に挑戦し、それぞれの工夫を交流する。
和歌山市支部	誰から見てもわかりやすい 手引きの作成 文書管理部会	初心者でもわかる事務手引き作成を目標に、月別の事務処理予定表を盛り込んだ詳細な資料を提案。グループ別に日頃の業務に関するアンケートをもとに実態を交流する。

平成27年度

担当支部	分科会名	内 容
那賀支部	特報! こんな学校、あんな学校 ～学校財務部会からのスcoop～ 学校財務部会	学校予算が減らされ続ける中でも、他校の実践に学び自校の問題解決に取り組む（＝お知恵拝借）ことを重視し、様々な場面に対する解決方法を参加者とともに探っていく。
那賀支部	「学校の安全と安心」への 学校事務職員の関わり方について 危機管理部会	防災（耐震）・危険箇所（安全点検）・不審者対応など、安全で安心な学校作りのために事務職員ができることを、いくつかの学校の実例を挙げて提案する。非常時の児童受け渡しの動線確認も重視。
那賀支部	楽しく交流、事務実践 ～意見を出し合い問題解決!～ パンフレット部会	事例交流を通して事務処理パンフレットを継続して作成してきた部会が、これまでの集積を活かしてクイズ形式で実務演習・交流を進める。
東牟婁支部	異動のミカタ ～使える引継簿をめざして～ 実務ブロック	「異動先で心強い味方になる引継簿」を目標に、事務処理だけでなく学校行事や校内の設備関係図、業務日誌などきめ細かい引継簿を提案する。
東牟婁支部	突然起きる災害。 その時現場で何が出来る？ 防災ブロック	H23年9月紀伊半島豪雨被災地域から、実際の経験を踏まえた防災対策を提案。災害発生シミュレーションを通し、自校の対策について考える。
東牟婁支部	重い資料はもう不要!? ～使って☆便利 PDF～ インデックス部会	事務文書や手引き書、関連の資料など膨大な文書を PDF 形式のファイルにまとめ、手軽に管理・閲覧できる取組について提案する。
東牟婁支部	今、新たに学校事務職員の 標準的職務内容を考える 職務内容研究ブロック	県事務研の「標準的職務内容」が「4本柱」から「5本柱」になって20年近く経過したことを踏まえ、従来の実務内容による分類ではなく職務の目標として、新たな「標準的職務内容」を提案する。

平成28年度

担当支部	分科会名	内 容
日高支部	ひと目でわかる 修繕 History ～これ ありがたいわぁ～ 財務・環境部会	学校の施設・設備修繕の記録を「修繕マップ」という形で作成。マップ上に修繕箇所・内容・費用・業者名などの情報を記載し、担当者が変わっても引き継げるよう工夫した。
日高支部	これで解決!? 文書管理 文書・学務部会	過去に配布された通知文書を確実に保管し活用するために、文書を集約し、電子データにして分類・整理した。データを CD で配布するだけでなく、より使いやすいシステムを考案する。
日高支部	たまごとひよこの奮闘記 県費部会	「たまひよ日記」と名付けた業務記録を作成し、他校の事務職員の仕事ぶりを通して自分の仕事に活かしていく活動を提案。経験が浅くても周りの先輩に教えてもらえるという安心感にもつながる。
日高支部	これを見ればスカッと解決! JIMU GUIDE ～人事・管理編 人事・管理部会	さまざまな事象に少しでもスムーズに対応するため、人事管理関係の資料をまとめたハンドブックを作成。いろんなケースに対しての対応策など、身近な体験例を出し、交流する。

平成29年度

担当支部	分科会名	内 容
海草支部	学び合おう ～みんなの力を合わせて～ (海草花子さんの教員生活)	海草花子先生の採用から退職までの事務手続を例に挙げ、時系列に事例研修を行う。参加者も電卓片手にさまざまな演習問題に挑戦。
西牟婁支部	～4, 5月を乗り切ろう!! もうこれで安心ですよ～ マニュアル班	チェックリスト作成や通知文のデータ化に取り組んできた成果を CD-R にまとめて提案。これで忙しい4, 5月を乗り切ろう!!
西牟婁支部	覚醒 シン・学校事務職員 極めろ! ～更なる高みをめざして～ マネジメント班	資格取得やコミュニケーション能力向上を通じてスキルアップする取組を報告。仕事に役立つ資格や技能の紹介し、カードゲーム方式で提案。
西牟婁支部	こんなときどうする?? ～ちょっと気になる事例交流～ 実務研修班	特殊なケースを交流しながら事例研修に取り組んできた成果を報告。ケースごとの事務処理について実務研修を行う。
西牟婁支部	やってみよう! 環境整備 RE-B00000RN! ～修理・整理・よみがえり本～ 環境整備班	15年の歴史をもつ環境整備班。図書室の本をよみがえらせる技や「活用・再生・整理リスト」などの報告し、事務職員が環境整備に係わることの意義を、実技を交えて提案する。